



ふじみ野市誕生20周年記念式典

特別表彰



元ふじみ野市長職務執行者
武藤 博さん



初代ふじみ野市長
島田 行雄さん

キャッチフレーズ・シンボルマーク表彰



キャッチフレーズ最優秀賞
坂元 祐介さん



シンボルマーク最優秀賞
笹本 麻美さん

20周年記念動画

「いつも、いつまでも変わらない、ふじみ野市」

尚美学園大学に市のこれまでの歩みをテーマに20周年記念動画を制作していただきました。市の魅力を改めて実感できる素晴らしい動画です。YouTubeで公開していますので、ぜひご覧ください。



ふじみ野市誕生 20周年記念式典



未来へと笑顔でつながる ふじみ野市

ふじみ野市誕生20周年記念式典を開催
20周年記念事業クラウドファンディングの報告

みんなの20周年記念 カウントダウンフォトアルバム



市誕生20周年を祝う
10月5日(日)にステラ・イーストホールで、ふじみ野市誕生20周年記念式典を開催しました。
式典には、大野知事をはじめ、国会議員、県議会議員、近隣首長、近隣議会議員、市議会議員、各種団体などの来賓、功労者表彰受賞者、約240人が出席しました。



市誕生20周年記念事業クラウドファンディングのご報告

令和6年10月から今年1月にかけて、市で初めてのふるさと納税型クラウドファンディングを実施しました。

今回のクラウドファンディングは、20周年記念事業「市民第九コンサート」「市初の地酒づくり」「子どもたちに記念給食を提供したい」の3つの事業の実現に向けて寄付を募りました。

市内外を問わず、たくさんの人から多くの寄付と応援をいただき、ありがとうございました。これからも、市民の皆さんや市を応援してくれる人たちにあったかいまちと感じてもらえるようさまざまな事業を展開していきます。



上野台体育館で練習



指揮者 北原幸男さん

市民による第九コンサート

10月5日にステラ・ウェストホールで市誕生20周年記念公演第九コンサートを開催しました。

第一部は、祝祭ユース・オーケストラによる市の新たな門出を祝うファンファーレやソリストの透き通る歌声などを披露しました。

第二部は、第九市民合唱団と市にゆかりのあるソリスト、祝祭ユース・オーケストラが、北原幸男さんの指揮のもと一体となって壮大な演奏と大合唱で感動を与えてくれました。会場からは大きな拍手が送られました。

その後、アンコール曲のリズムに合わせて、合唱団と会場の皆さんと一緒に拍手で演奏を盛り上げ、記念公演は幕を閉じました。

たくさんの応援と寄付をありがとうございました！

目標金額としていた300万円を超える約360万円の寄付を87人からいただきました。集まった寄付金は、応援いただいた事業の実現やそれを充実したものにするために大切に活用しました。

クラウドファンディングの寄付金額結果

応援事業名	寄付額
市民第九コンサート	197,000円
市初の地酒づくり	1,070,000円
子どもたちに記念給食を提供したい	1,943,000円
20周年事業全般を応援	385,000円
合計寄付額	3,595,000円



開演前のステラ・ウェストホール

実行委員長の想いをお届け



「ふじみ野で第九を！」
実行委員会委員長
木村 浩則さん

第九を終えて、今の心境や想いは

公演実行委員長を務めつつ、合唱団にも参加しました。長い時間をかけて「歓喜の歌」と向き合ったことは、貴重な経験で大きな達成感を味わうことができました。

一番良かったと感じた瞬間は

オーケストラの生の音を間近で聴けたことに感動しました。また、公演後に一緒に歌った人とまたま別の場所でお会いし、声を掛け合う機会もありました。こうした地域のつながりも大切にできればと思います。

応援してくれた人へ

クラウドファンディングをはじめさまざまな形で支援をいただいた皆さん、ありがとうございました。おかげさまで盛大でとても素敵な記念公演を実現できました。



20周年記念給食はみんなを笑顔に - 8月28日・29日に記念給食が登場 -



人気投票結果 (インタビュークラス対象の総数64人)



児童・生徒の声を届け

20周年記念給食はどうでしたか

小学生 市内で作られている野菜も使っているとのことだったので、作っている農家さんのことを思いながら、おいしくいただきました。

中学生 市を意識したメンチカツをはじめ、特別感があってよかったです。

先生の声を届け

子どもたちの様子は怎么样了

小学校担任 献立が配られた時からすでにわくわくしていました。シャーベットの見た目が期待以上だったらしく、大盛り上がりでした。ほとんどの子どもが完食していました。

中学校担任 みんなシャーベットやメンチカツのプリントに魅かれる様子もあり、楽しそうに食べる姿が印象的でした。

ふじみ野市初の地酒が披露目 その名も「河岸の蔵」

11月3日から地酒「河岸の蔵」が発売開始されました。同日開催の産業まつり(28ページに掲載)には、「河岸の蔵」と「海中熟成酒」のセット販売や飲み比べブースもあり、多くの人が、その味を確かめていました。



地酒づくりプロジェクトの
原田リーダー・古川サブ
リーダーにインタビュー

「河岸の蔵」命名への想い

原田 市誕生20年の絆や市の歴史をうまく融合させたいという想いがありました。市に舟運で栄えた船問屋があり、河岸には多くの船が集まり、物流により経済活性化の役割を果たしていたことにあやかり、人と人をつなぐ、地域経済の発展に寄与する地酒になるよう願いを込めて命名しました。

海中熟成酒へのチャレンジ

古川 日本酒でも海中熟成する手法があると紹介してもらい、ロマンを感じました。そこで知り合いや関係各所でアドバイスをもらっているうちにトントン拍子で進められました。

完成したお酒の味や飲み比べて

古川 初めての試みだし、最初は期待してなかったです(笑)。飲んでみたら、結構おいしくできていて驚きました。海中熟成酒も味の違いがはっきり分かります。ピリツと感が柔らかくマイルドに



販売店および提供飲食店のお知らせ

販売店	所在地
リキュール&フーズのぐち屋	富士見台16・8
丸文酒店	松山2・5・11
ヤマザキショップミヤザキ	福岡中央2・13・20
泉名ストアー	清見3・4・8

提供飲食店は、市観光協会ホームページをご覧ください。



なっています。これは、ぜひ飲んで比べてみて欲しいです。

クラウドファンディングで応援してくれた人へ

原田 ぜひ、飲んでいただきたい。初めての酒造りに多くの人が応援してくれ、今後もこの事業を続けていきたいと思っています。良いお酒になりましたので、この街・地酒のファンになってほしいです。

古川 ゆくゆくはふるさと納税返礼品として、多くの人に手に取ってもらえるようにしたいです。

